

平成31年1月7日（月）
愛知県教育委員会財務施設課
管財グループ
担当 中島、石橋、松澤
内線 3835、3832
ダイヤル 052-954-6764

県立刈谷北高等学校用地と隣接する株式会社豊田自動織機 用地との土地交換について

この度、愛知県は、株式会社豊田自動織機及び刈谷市との間で、県立刈谷北高等学校用地と隣接する豊田自動織機用地との土地交換について、協議を進めていくこととしましたので、お知らせします。

1 交換対象の土地の現況

グラウンド名称	現況
刈谷北高等学校・東グラウンド 面積：21,545 m ² 所在地：刈谷市豊田町三丁目地内	<ul style="list-style-type: none">・本校校地とは市道（幅員 12m・片側一車線）で隔てられ、校地と東グラウンド間の移動は学校専用の歩道橋を利用している。・グラウンドの北側は豊田自動織機本社・刈谷工場に隣接している。
(株)豊田自動織機・本社グラウンド 面積：約 23,500 m ² （緑地帯を除く） 所在地：刈谷市宝町八丁目地内	<ul style="list-style-type: none">・刈谷北高等学校・北グラウンドに隣接している。・豊田自動織機の企業チームであるラグビー部、女子陸上競技部等が、活動拠点として利用している。

2 経緯

豊田自動織機から、将来的な刈谷工場の再編に向けて、同社の本社グラウンドと県立刈谷北高等学校・東グラウンドとの土地交換の申し入れがあり、県として検討した結果、教育環境の向上等のメリットがあると判断されたことから、刈谷北高等学校・東グラウンド用地と(株)豊田自動織機・本社グラウンド用地との交換を行うこととし、地元の刈谷市も交えた三者で交換に向けた協議を進めることとした。

3 土地交換による本県のメリット

現 況	土地交換のメリット
<ul style="list-style-type: none"> 学校グラウンド面積 計 30,977 m² 〔東グラウンド(21,545 m²) 北グラウンド(9,432 m²)〕 	<ul style="list-style-type: none"> 土地交換後はグラウンド面積が約 33,000 m²となり、約 2,000 m²増加することにより、体育授業や部活動の充実といった教育環境の向上を図ることができる。
<ul style="list-style-type: none"> 東グラウンドと北グラウンドが離れて立地している。 東グラウンドへの移動は、専用の歩道橋を利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校グラウンドの一体化により、生徒の安全管理体制の面において、生徒の活動状況を一括して把握でき、事故等への速やかな対応が可能となる。 非常時において、一箇所へ生徒を避難させることにより、迅速な安否確認が可能となる。 このことにより、安全・安心な学校づくりに向けた、学校運営の円滑化を図ることができる。

4 土地交換の時期

2022年度中を目途

5 刈谷北高等学校の将来構想

刈谷北高等学校では、国際社会で活躍できる自立した若者の育成を目指した「国際教養科」を平成31年度（2019年度）に設置するが、この土地交換を契機として、さらにステップアップさせ、グローバル企業が集積する地域の特性を生かしたグローバル人材育成の全県的な拠点校となることを目指していく。

	平成30年度	平成31年度
募集学級数	普通科：10学級	普通科：9学級 国際教養科：1学級（新設）